

令和7年3月7日
独立行政法人水資源機構
朝倉ダム総合事業所

筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会

(第3回) の開催について

独立行政法人水資源機構朝倉ダム総合事業所では、筑後川水系ダム群連携事業及び寺内ダム再生事業に関して環境調査や保全対策について、総合的な観点から助言を得ることを目的として、学識経験者等からなる「筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会」を設置しています。

令和7年3月15日(土)に第3回委員会を開催しますので、別紙のとおり、お知らせ致します。

発表記者クラブ： 国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ、西日本新聞社朝倉支局、読売新聞社筑紫支局、毎日新聞社福岡本部社会部、朝日新聞社太宰府支局

お問い合わせ先： 朝倉ダム総合事業所 総務課長 すぎもと 杉本、調査設計課長 あきやま 秋山
電話：0946(52)8050(代表)

1. 日時及び場所

- (1) 日時：令和7年3月15日（土）13：30～17：00（終了予定）
- (2) 場所：久留米ステーションホテル 会議室（地下1階）
（住所 福岡県久留米市中央町2-14）
（電話 0942-36-1122）



2. 予定議事

- (1) 筑後川水系ダム群連携事業環境影響評価について
- (2) 寺内ダム再生事業環境影響評価について
- (3) 環境レポートについて

3. その他

- (1) 委員会は、公開の対象を報道機関といたしますが、希少生物保護の観点に関わる内容等については、非公開とします。
- (2) ビデオ収録・録音及び写真撮影は、冒頭の事業者挨拶（議題が始まる）までとし、審議中は傍聴取材（着席）となります。
なお、会場の都合上、報道関係者のみへの公開となります。
- (3) 審議内容に関する質問は、委員会終了後に受け付けますので、委員会での質問はご遠慮ください。
- (4) 取材を希望される方は、3月14日（金）正午までに、別紙-5のとおり、事前にFAXにてお申し込み下さい。
- (5) 委員会資料・議事概要は後日、朝倉ダム総合事業所ホームページに掲載する予定です。

筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会委員名簿

| 氏 名 | 所 属 | 専門分野 |
|--------------------|----------------------------|-----------------|
| いぬい りゅうてい 乾 隆帝 | 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 教授 | 魚類 |
| おの ひとし 小野 仁 | 日本野鳥の会 福岡支部長 | 鳥類 |
| ◎ こが けんいち 古賀 憲一 | 佐賀大学 名誉教授 | 水質 河川工学 |
| しまだ じゅん 嶋田 純 | 熊本大学 名誉教授 | 地下水 |
| なかじま じゅん 中島 淳 | 福岡県保健環境研究所 環境生物課 専門研究員 | 底生動物 |
| にしの ひろし 西野 宏 | 熊本大学 名誉教授 | 陸産貝類 |
| ひろわり としや 広渡 俊哉 | 九州大学 名誉教授 | 陸上昆虫類 |
| まなべ とおる 真鍋 徹 | 北九州市立自然史・歴史博物館 自然史課長 | 植物 |
| やまね あきひろ 山根 明弘 | 西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 | 哺乳類・両生 類・爬虫類 |
| つかはら たかお 塚原 隆夫 | 国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所長 | 行政委員 |

(敬称略、五十音順。◎：委員長)

筑後川水系ダム群連携事業

事業概要

- 位置 筑後川水系筑後川
(福岡県朝倉市山田地先) から佐田川 (同市佐田地先)
- 目的 「筑後川水系における水資源開発基本計画」に基づき、水の安定的な供給を確保することを目的として、筑後川本川から支川佐田川へ導水施設を建設するとともに、両筑平野用水施設 (江川ダム)、寺内ダム及び小石原川ダムの有効活用を行うことにより、筑後川の適正な河川流量の保持を図る。
- 諸元 導水路 約10km
最大導水量 毎秒2.0立方メートル

位置図



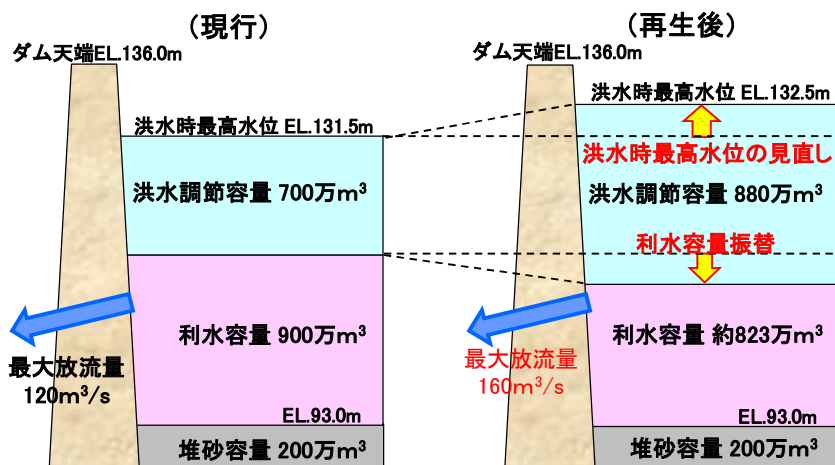
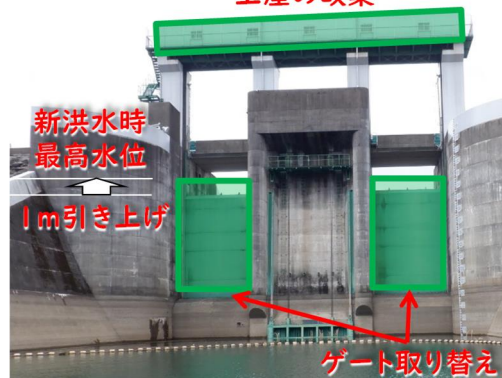
寺内ダム再生事業

事業概要

- 位置 筑後川水系佐田川
左岸・右岸：福岡県朝倉市荷原地先
- 目的 「筑後川水系における水資源開発基本計画」に基づき、寺内ダムについて、貯水容量の振替及び洪水放流設備の改築等を行うことにより、当該ダム地点における計画高水流量毎秒390立方メートルのうち、毎秒230立方メートルの洪水調節を行い、下流の高水流量を低減させるものとする。
- 概要

| | |
|----------|----|
| 容量振替 | 一式 |
| 洪水放流設備改築 | 一式 |
| 管理設備 | 一式 |

非常用洪水吐きの改造
上屋の改築



筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会（第３回）

取材申込み連絡表

取材を希望される方は、事前にＦＡＸにてお申し込み下さい。

ＦＡＸ番号：０９４６－５２－８０３０

ＦＡＸに記載して頂く事項：

①報道機関名

②氏名（ふりがな）

※ 1つの報道機関で、複数名取材を申し込まれる方は、全ての方のご氏名を記載ください。

③連絡先（電話番号）